

第 2 次那須塩原市地域公共交通計画（素案）に対する  
パブリックコメント（市民意見募集）の結果について

1 実施状況

- (1) 募集期間 11月21日（月）から令和4年12月19日（月）まで
- (2) 意見提出者数 26人
- (3) 意見件数 26件
- (4) 提出方法

提出方法	直接書面	郵送	ファックス	電子メール	計
人数	24人	1人	-	1人	26人

2 提出された意見とそれに対する市の考え方

番号	意見	市の考え方
1	<p>【計画書案 51 ページの意見】 基本方針には賛成です。</p> <p>【計画書案 53 ページの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 生活交通の手段の確保・維持の事業にぜひドア to ドア方式を加えて下さい。</li> <li>・ 2-（2）路線バス無料乗車イベントは実施しないでその費用をドア to ドアに回してほしい。 ※ドア to ドアを取り入れることよっての経費の重複出費を防ぐ</li> <li>・ ゆータク・タクシー券の廃止</li> <li>・ ゆーバス運用の見直し ※資金の確保に車内広告、車体広告をしている市があると聞きました。検討してみてもいいでしょうか。 ※ドア to ドア方式は高齢化社会においては必須の移動手段です。弱者が暮らしやすい街は全ての人が暮らしやすい街です。よろしくご検討下さい。 ※この膨大な資料のまとめ、ご苦労様でした。</li> </ul>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆータク再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたします。</p>
2	<p>【計画書案 51 ページの意見】</p> <p>基本方針 1「住民の安心で楽しい暮らしを支える地域公共交通の確保・維持を目指します」という方針は嬉しくかつ素晴らしい方針です。</p> <p>でも、現状ではゆーバス、ゆータクのバス停まで 15 分以上かかり、とても歩くのが大変で利用ができません。毎日ガラガラのゆーバスを目にすると、何かもっと変えられないのかずっと考えてきました。78 才になった</p>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆータク再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたします。</p>

	<p>今、このことはとても重要です。</p> <p>高齢者の車事故ニュースを見るにつけ、乗車（運転席に座ると）アクセルとブレーキを交互に踏む練習をしたり信号、T字路ストップなど確認する練習をしたりし、塀にぶつけることはあっても何としても人身事故だけは起こすまいと、鈍くなる一方の感覚と相対しています。</p> <p>何はともあれ、今の公共交通状況では、免許証の早期返還はできません。何とぞ私たち市民が安心して楽しくこの街で暮せるよう「ドアツードア方式」のデマンド型公共交通を取り入れて下さい。</p> <p>近隣の市町村は一步を踏み出しているところがとても多くなりました。緑豊かな美しい街、那須塩原市が住みよくなれば、多くの人定住され人口が増え、豊かな待ちに発展することでしょう。</p>	
3	<p>【計画書案 51 ページの意見】</p> <p>・ 1 安心して楽しい暮らしを支える…とありますが、決して安心とは思われません。ドア to ドアを考えた方が安心して楽しい暮らしになるのかと思われます。御願い致します。</p>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆーたく再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたします。</p>
4	<p>【計画書案 41 ページの意見】</p> <p>8.2.4 (1) デマンド型交通の利用意向は約 36%を占めています。</p> <p>【計画書案 44 ページの意見】</p> <p>(1)他地域住民の移動における課題として「自動車を運転しなくても生活圏域内を移動できる環境の創出が課題となっています。</p> <p>【計画書案 53 ページの意見】</p> <p>基本方針の計画目標と取組事業の設定は「安心して楽しい暮らしを支える地域公共交通の確保・維持」であるので、その事業の中にドア to ドア型の地域交通の検討を入れて欲しい。住民に最も望まれていることでもあるので。</p>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆーたく再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたします。</p>
5	<p>【計画書案 48 ページの意見】</p> <p>◇安心して楽しい暮らしを支える地域公共交通の確保・維持に対する提案◇</p> <p>デマンド型交通の利用意向（41 ページ）では約 36%が利用したい、利用すると思うと答えている。この数字は決して低い数字では無く 36%もいる事で、もっと利便性を改善すれば、この率は上がっていくものと思う。</p> <p>令和 3 年度のゆーたくの経常費用は 65,860 千</p>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆーたく再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたします。</p>

円であり、収支率が悪い（15 ページ）。一方では高齢者外出支援タクシー券は令和 3 年度の市の補助額は 61,493 千円でゆータク経常費用とほぼ横並びである（17 ページ）。タクシー券とゆータク費用合計の約 1 億 3 千万円（令和 3 年度実績）を今後併用するのではなく、ここはゆータクをドア to ドア型デマンド方式に移行しタクシー券は廃止もしくは縮小すべきと提案します。

ドア to ドア型デマンドにすれば、自宅から停留所まで遠くても、買い物で重い荷物となっても、猛暑や急な雨・風でも屋根のない停留所で待つことも無く、外出も楽になります。又、相乗りする事により知り合い仲間も増え、交流が生まれ、親睦を図る事が可能である。それにより、いざという時の助け合いにも繋がることも出来ると思います。5 年先、10 年先、気軽に免許返納が出来、安心して生活できる那須塩原市に住んで良かったと言えるよう、是非実現をお願い致します。

#### 【計画書案 60 ページの意見】

◇利便性の高い新たな交通サービスの提供についての提案◇

自宅からゆータク停留所までの所要時間（39 ページ）によると回答があった 46%の中で 3 分以内が 16%で 4～5 分以内が 11%に留まっており、残りは 6 分以上 31 分以上の方もいる。

一方無理なく歩ける距離（37 ページ）により 100mまでが 7%もあり、300m～500m以内も約 11%存在する。長く歩行できない、停留場までの距離が遠い所まで全員の利便性を改善する事は現行の停留所方式（定時停路方式）では無理があることは否めない。これを解決する方法は福島県南相馬市の「みなタク」の紹介例（60 ページ）にあるように、デマンド型（自宅⇄目的地）が有効である。栃木県に目を向けてみても、目的地が指定された場所での乗降や自由に乗降できる場合などがあるが、ほとんどの市・町（21 市・町）が自宅から乗降できるドア to ドア型デマンド方式を取り入れ展開している。本市が展開するゆータクは、停留所往復での運用で、今後 5 年先の高齢化社会を考えても、買い物で重い荷物を持つなど利便性を考えても、地域に密着した市民に優しい交通システムとは言えないと思う。他市・町同様、ドア to ドア型デマンド交通の実施を求めるものです。

6	<p>【計画書案 5 ページの意見】</p> <p>国は地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部改正交付施行された。これにより、全国の市町村が動き出していることを知りました。国も更なる高齢化時代の活性化再生が重要と認識し、補助金まで出ています。</p> <p>調べますと、栃木県内で高齢者が出掛け易いように自宅から乗れるデマンド公共交通をやっている市町は 25 中 21 ありました。</p> <p>また、那須地域の広域的な公共交通網を連携している 2 市 2 町の中でも、那珂川町も自宅からの公共交通デマンド型を実施しています。高齢者・体の弱い方に那須塩原市でも、自宅からの公共交通デマンド型を実施して欲しいです。お願い致します。</p> <p>【計画書案 41 ページの意見】</p> <p>デマンド型交通の利用意向が 36%とあります。まだまだ免許証自主返納が少ない時代でもこれだけの多くの人々が求めています。高齢者になると歩くのが困難でありまして出掛けるだけでも疲れるのに大きな荷物を持って動くのはとてもたいへんです。</p> <p>免許証を自主返納しても安心して暮らしていける住み良い街づくりが必要ではないでしょうか。それには自宅から目的地まで可能なデマンド型交通の整備をお願い致します。</p> <p>【計画書案 44 ページの意見】</p> <p>今後更なる高齢化の進展に伴い自動車を運転できる人の減少する可能性あり又送迎できる人も減少する。</p> <p>【計画書案 48 ページの意見】</p> <p>自動車がいなくても移動のできる環境の創出が課題とあります。私もこれからの高齢化時代により経済が動かなくなるのではないかと思います。どうしても高齢者が多い世の中で、活性化させ継続していくためには、高齢者が健康のためにも外出しやすい環境は重要と思います。それには歩行が困難な人でも外出しやすい環境は重要と思います。それには、歩行が困難な人でも外出しやすい自宅から目的地まで移動できることは重要です。</p> <p>【計画書案 60 ページの意見】</p> <p>利便性の高い交通サービスの提供について、現在「ゆーバス」「ゆータク」は停留所で待たなければなりま</p>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆータク再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたします。</p>
---	--	---

	<p>せん。高齢者の場合、立ったまま待つのはつらい。また、暑さ、寒さ雨・風にさらされ待つのもつらい。「ゆーバス」はほぼ時間通りにきますが「ゆータク」は停留所でのくくらい待たなければならないのか不安です。</p> <p>自宅からのデマンド交通にすればこれらは解決します。利便性を考えてと思いますが、他の多くの市町では自宅からのデマンド公共交通が実施されています。</p>	
7	<p>【計画書案 13 ページの意見】</p> <p>私は、移住して 10 年目ですが、運転免許が無く何処へ行くにもゆ〜タクを最優先に利用しています。また、ゆ〜タクの区域外や時間的に難しい場合は、家内の運転で目的地まで行っています。その家内も病により手術して車の運転ができなくなる恐れがあります。</p> <p>こうした中、那須塩原市広報誌・掲示板で本件の意見募集を知り（素案）を読みましたが、70 頁以上の内容を高齢者には理解することが極めて難しい。要点を 2〜3 ページ纏めていただければ有難い。</p> <p>まずは、公共交通機関を利用した「意見要望」を別紙（※1）に添付します。</p> <p>①公共交通機関は、コロナの影響を受け、ゆータクを含め利用者の減少傾向が続いている。一方では、高齢者の殆どがゆ〜タクの存在すら認識してない。</p> <p>②モビリティマネジメント</p> <p>いろいろ取り組みをされてきたが、さらに活性化・再生するためには、需要者側である地域住民・学校・企業等の利用者促進に取り組む。（鹿沼市で実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域バス、ゆ〜タクの乗り方教室</li> </ul> <p>小学生から高齢者を対象に「バス、ゆータク乗り方教室」を実施。バスの乗り方（路線についての理解や時刻表の見方、乗降ルールなど）を案内する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆ〜タク、地域別バスの乗り方マップの作成</li> </ul> <p>公共施設、病院単位の地域に密着したゆ〜タク、地域別バスマップを作成。ゆ〜タクと地域バスを組み合わせる事で多様な移動ができることを案内。</p> <p>これらの利用客の積極的誘致活動により利用客の増加を図る。一方、経費については運行委託契約を見直し運行経費の削減を図る。</p> <p>③広告事業</p> <p>ゆ〜タク、ゆ〜バスの車体広告・車内広告を募集して運行資金を確保する。</p> <p>④タクシー券配布の廃止</p> <p>障害者福祉タクシー・車椅子タクシー・高齢者外</p>	<p>要点をまとめた概要版の計画書につきましては、作成を予定しています。</p> <p>また、御意見のあった「バス、ゆータク乗り方教室」につきましては、既に生涯学習出前講座のメニュー「バスの乗り方教室」として実施していますので、こちらを御利用ください。</p> <p>その他の御意見等については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆータク再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたしますが、公共交通の持続可能性の観点から、適正な受益者負担をいただくことが必要であると考えております。</p>

	<p>出支援タクシーなどタクシー券の配布を廃止してゆ〜タクに一本化して運賃制度を検討する。</p> <p>【計画書案 36 ページの意見】</p> <p>①自宅からゆ〜タクの停留所までの所要時間 6分から10分の割合が高いが関谷地区を除きほぼ50%が無回答</p> <p>②デマンド型交通の利用意向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運行時間は、9時から17時のイメージだが病院は、8時から診療が始まるので8時から18時に変更。</li> <li>・ 予約時間は、現行ゆ〜タク同様1時間前に変更</li> <li>・ 運賃は、ゆ〜タクの200円を考えると500円。更にタクシー運賃補助制度を「ゆ〜タク・ゆ〜バス・障害者福祉・車椅子・高齢者外出支援、各タクシー」の運賃制度を確立して運行経費の削減。</li> </ul> <p>より便利な公共交通を目指して玄関から目的地まで目的地から玄関までを移動できる「ドア to ドア」デマンド交通の運行を早急に図る。</p> <p>【計画書案 53 ページの意見】</p> <p>計画目標 2（1）地域公共交通のわかりやすさ向上（追加）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域バス、ゆ〜タクの乗り方教室 小学生から高齢者を対象に「バス、ゆ〜タク乗り方教室」を実施。バスの乗り方（路線についての理解や時刻表の見方、乗降ルールなど）を案内する。</li> </ul> <p>2（2）地域公共交通用の「きっかけ」づくり（追加）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需要者側である地域住民・学校・企業等の利用者促進に取り組む。</li> </ul> <p>※1 掲載ページの都合上、提出のあった別紙1「ゆ〜タクを利用して（高林・青木線）」及び別紙2「那須塩原市の公共交通機関を検討する」の内容掲載は省略させていただきます。</p>	
8	<p>【計画書案 60 ページの意見】</p> <p>私は4年前に運転免許を返納し、現在は近場で自転車で動いている85歳の独居老人です。</p> <p>市の素案の60ページに南相馬市の「みなたく」の例が載っていて、本市の「ゆ〜タク」にも大きなヒントになるのではないかと思います、パブリックコメントを出してみました。</p>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆ〜タク再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたします。</p>

	<p>南相馬市では、タクシーが自宅まで着て、決められた乗降場所（地図で表示している）まで運ぶ。乗車人数を問わず、地域によって 600 円、900 円と決めている。「デマンドタクシー」と名乗る以上自宅まで乗せてくれる方向で検討してほしい。</p>	
9	<p>【計画書案 17 ページの意見】 下から 3 行目に「原則、やむをえない事情があるときを除きマイカーを避けるよう話し合います。」を入れる。理由は自主登下校できないときのフォローは、なるべくマイカーを使用しない。化石燃料消費を避けるためです。</p> <p>【計画書案 44 ページの意見】 〔移動における課題〕（2）観光客の下段 「地球温暖化を考えて自動車を運転しない人の・・・」と立脚点を替える。</p> <p>【計画書案 47 ページの意見】 〔地域公共交通の課題〕中段に「交通運賃の考え方として、一定額の増高があった場合でも自動車購入費用・自動車税・任意保険代・車検費用を月平均で換算して負担の重さを比較してみたいかがでしょう。また、利用者拡大も課題に上りますが、通勤者も含め、化石燃料使用を大幅に減らす大きな視点が求められます。」を挿入する。</p> <p>【計画書案 49 ページの意見】 13 行目囲みの中 「地球温暖化防止への対応等のなか、まちづくりと整合し・・・」と大きな取組の観点を入れる。</p> <p>【計画書案 51 ページの意見】 10.2 基本方針 2 まちづくり計画と・・・の本文中の「ゆーバス及びゆータクの運行が民間事業の需要と競合しないよう調整し」を削除する。 理由は、現在の既得権益にとらわれることなく、今から、化石燃料に頼る交通機関の体系を大胆に見直し、この分野で先手を打つことを目標にするためです。</p> <p>【計画書案 52 ページの意見】 3 地域公共交通での・・・下段文中に「・・・削減に向け、とかく弱者救済的な観点ではなく、モータリゼーション革命前の状態に戻し、通勤にも生活上でも大</p>	<p>地域公共交通計画は、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすものであり、公共交通が主題の計画になります。本市の気候変動対策等の取組みについては、令和 4 年 3 月策定の「那須塩原市気候変動対策計画」に基づき実施するものになりますので、今回いただいた御意見については、本計画書への反映は行わず、71 ページ「事業 3-1 電気バス車両等の導入促進」や 72 ページ「事業 3-2 グリーンスローモビリティ、自動運転車両等の導入検討」等の検討の際に参考にいたします。</p> <p>なお、自動運転車両につきましては、国は自動運転技術の確立に向けて 2015 年度から毎年「官民 ITS 構想・ロードマップ」を策定し、早期実現に向けた計画のもと官民協働体制で事業を推し進めており、本市でも栃木県 ABC プロジェクトにおいて、塩原温泉郷で実証実験を実施し、多くの市民や観光客が乗車し、一定の成果があったものと認識しております。自動運転技術については、省人化や省力化に向けて自動運転等の IT 技術の活用を検討することは必須であると考えておりますので、今回の御意見の計画書への反映は行いません。</p>

	<p>いに利用できる交通体系を目指し、自家用車・・・」、「気候変動対策を早めに推進します。」と挿入する。</p> <p>【計画書案 53 ページの意見】 右側「事業」の最下段「自動運転車両」を削除する。 理由は、それこそ費用対効果からも考えられない。観光や目新しさの売りにはなるが。</p> <p>【計画書案 72 ページの意見】 事業 3-2 グリーンスローモビリティ等の導入検討と項目上で「自動運転車両」を削除する。本文でもこの部分は削除する。</p> <p>【計画書案 73 ページの意見】 11.3 スケジュール最下段の「自動運転車両」を削除する。</p>	
10	<p>【計画書案全体・その他の意見】 私は 80 歳間近の石林住民です。外出のための移動手段は自転車だけなので遠くへ行きたいときは夫に頼んで乗る又は他の人に乗せていただいています。夫も高齢で来年中に免許証を返納するというので、私どもの外出はさらに制限される見通しで今後の人生を元気に楽しく過ごすには通院など含め、公共交通に頼らざるを得ません。 市の地域バスの利用を充実させるという計画の中に高齢者や移動手段に困る住民皆さんが利用しやすいデマンド交通を視野に入れてほしいです。</p>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆーたく再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたします。</p>
11	<p>【計画書案全体・その他の意見】 近い将来、運転免許を返納しなくてはならないと思っていますが、交通手段がとても不安です。体調にも不安がありドア to ドアがたのデマンド交通があればとても良いと思います。</p>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆーたく再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたします。</p>
12	<p>【その他の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塩原温泉の景観がよくありません。ペンキ塗りなど（つぶれた旅館壊し）補助はできないでしょうか。</li> <li>又、食事内容が好物ではないので工夫を</li> <li>・ 本市は、全国でも有名な牛乳の産地です。この牛乳を使ったチーズ工場の設置を願っております。</li> <li>・ 野球場、サッカー場、ボート遊び場など、子供も大人も楽しめる競技場の設置をしていただけたら嬉しいです。</li> <li>・ 温水プール場が西那須野、黒磯にほしいです。</li> </ul>	<p>本計画に関連性のない御意見のため、回答は控えます。</p>

13	<p>【計画書案全体・その他の意見】</p> <p>近い将来に来るであろう高齢化社会に、病院やスーパーマーケットなどの交通への不安があり、今からはっきりしたビジョンを行政に頼るしかないのでもよろしくお願いいたします。</p>	<p>第2次地域公共計画の計画期間を通じて、ゆーバス・ゆータクの運行効率や利便性の向上について検討してまいります。</p>
14	<p>【計画書案全体・その他の意見】</p> <p>乗客の少ないバスが走っているとちよつとがっかりします。必要なときに必要なバスがあるとうれしいです。もっと乗りやすい交通にしてほしいです。</p>	<p>第2次地域公共計画の計画期間を通じて、ゆーバス・ゆータクの運行効率や利便性の向上について検討してまいります。</p>
15	<p>【計画書案 53 ページの意見】</p> <p>人生 100 年時代と言われる昨今。基本方針にある外出することの喜びや楽しみ、楽しく生活するための移動の重要性はとても大切なことだと思います。</p> <p>そのための移動手段について、私も 5 年後には後期高齢者と言われる年齢を迎えます。老人の悲惨な交通事故などを考えると、一抹の不安を覚えます。</p> <p>現在公民館等を利用して健康維持のためにみんなでおしゃべり、サークル活動などを行っていますが、みんなでもこれからも続けられるようにその足の確保はいつも話題にあがり大変切実です。</p> <p>今の地域公共交通の中にぜひ近隣等で取り組まれているデマンド方式をぜひ計画の中に入れていただくよう検討してください。</p>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆータク再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたします。</p>
16	<p>【計画書案全体・その他の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家まで送迎してほしい</li> <li>・ 1 回数百円・300 円くらいまで</li> </ul>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆータク再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたしますが、公共交通の持続可能性の観点から、適正な受益者負担をいただくことが必要であると考えております。</p>
17	<p>【計画書案全体・その他の意見】</p> <p>83 歳で一人暮らしをして 70 歳で病気になり、免許を返納しまして病院通いが多くなり、買物に不便しています。病院も近いところにし、バス停まで歩けなくなる交通に困っています。</p>	<p>第2次地域公共計画の計画期間を通じて、ゆーバス・ゆータクの利便性の向上や、移動制約者の移動手段の確保について検討してまいります。</p>
18	<p>【計画書案全体・その他の意見】</p> <p>高齢化・過疎化が進む中で、市の財政の状況の中で交通網を密に利用しやすいものを維持、進めていくことは難しい事と理解はできますが、私たちも 70 代になり、車が使えなくなった時を思うと生活は不便、維持することが困難となる。</p> <p>住民のお互いのできることを協力していけるような体制として、送迎できる人を登録制にして、一定契約の制度を作り、使う人も登録制として、市で管理し、送迎登録者への補助金を市が出す。システムを</p>	<p>第2次地域公共計画の計画期間を通じて、ゆーバス・ゆータクの利便性の向上や、移動制約者の移動手段の確保について検討してまいります。いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆータク再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたします。</p>

	考え、なるべく生活が維持できる新たな方法は考えられないでしょうか。	
19	<p>【計画書案全体・その他の意見】</p> <p>1. 停留所まで往復の手段を市で考えてほしい。バス停まで行けなければ利用できない。（どんなにたくさんバス停ができて）</p> <p>2. 利用料金について 片道 300 円、往復 500 円が限界（距離に関係なく利用できる）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街中でも郊外であっても同一料金</li> <li>・ 出かけられる回数が公平であるように</li> </ul>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆータク再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたしますが、公共交通の持続可能性の観点から、適正な受益者負担をいただくことが必要であると考えております。</p>
20	<p>【計画書案全体・その他の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家まで送迎をしてほしい。</li> <li>・ 1 回数百円をお願いしたい。</li> </ul>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆータク再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたしますが、公共交通の持続可能性の観点から、適正な受益者負担をいただくことが必要であると考えております。</p>
21	<p>【計画書案全体・その他の意見】</p> <p>高齢者になり、ゆーバスの場合バス停まで行くのが大変になるため「ドア to ドア」のようにしていただければ便利かなと思います。</p>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆータク再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたします。</p>
22	<p>【計画書案全体・その他の意見】</p> <p>1 人暮らし、年間のタクシー券の予算を「ドア to ドア」にまわしてくれると助かります。ゆーバスは使いにくいので「ドア to ドア」を支持します。</p>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆータク再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたします。</p>
23	<p>【計画書案全体・その他の意見】</p> <p>ゆーバス、ゆータクについて、今は、自分で運転して出かけられるが免許返納後や障害が出たとき等利用したくなると思う。</p> <p>ただし、停留所が遠いと利用できないと思う。</p>	<p>第 2 次地域公共計画の計画期間を通じて、ゆーバス・ゆータクの利便性の向上や、移動制約者の移動手段の確保について検討してまいります。</p>
24	<p>【計画書案全体・その他の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人暮らしで、やがて車を乗らなくなった時に子供たちに頼みにくい。</li> <li>・ 友人に頼むのも最初はいいが、いつもは頼めない。</li> <li>・ タクシー券ということもあるが、あつという間になくなってしまう。</li> <li>・ 「ドア to ドア」交通があるといつでも頼れるような気がする。</li> </ul>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆータク再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたします。</p>
25	<p>【計画書案全体・その他の意見】</p> <p>現在は車を運転できるので問題は無いが、加齢や病気やケガで運転できなくなると身近に利用できる交通手段はタクシー以外にはありません。安心して生活するためにはデマンド型の交通手段の整備が必要と考えます。</p>	<p>いただいた御意見については、計画書案 60 ページ「事業 1-4 交通空白地域の解消に向けたゆータク再編及び利便性向上」等の検討の際に参考にいたします。</p>

	高齢者の増加。高齢者の事故の増加。貧困家庭の増加など考えると、きめの細かいサービスをお願いしたい。	
26	<p>【計画書案全体・その他の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近い将来車の運転ができなくなる時のことを考えます。</li> <li>・ 子どもたちは遠くに住んでいてあてにはなりません。</li> <li>・ 地域も高齢化が進み、若い人たちは少なくなっています。</li> <li>・ 手軽に利用できる足となるものを要望します。</li> </ul>	御要望として承ります。